

新国立劇場及び国立劇場おきなわの運営の在り方に関する検討会の議事等の公開について

平成 23 年 4 月 日 新国立劇場及び国立劇場おきなわの
運営の在り方に関する検討会 決定

新国立劇場及び国立劇場おきなわの運営の在り方に関する検討会の議事等の公開については、次のとおり取り扱うものとする。

(会議の公開)

1. 会議は、公開とする。ただし、次の各号のいずれかの案件に関する議事を除く。
 - (1) 座長の選任その他人事に係る案件
 - (2) 上記のほか、座長が、公開することにより会議の公平かつ中立な実施に著しい支障を及ぼすおそれがあると認める案件その他正当な理由があると認める案件
2. 会議を公開する場合には、会議の日時、場所及び議事を原則として会議開催日の1週間前の日(1週間前の日が行政機関の休日の場合は、その直前の行政機関の休日でない日とする。)までに文化庁ホームページに掲載するとともに文部科学省大臣官房総務課広報室に掲示する。

(会議の傍聴)

3. 会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ、文化庁長官官房政策課(以下「事務局」という。)の定める手続により登録を受けなければならない。ただし、会議を傍聴することができる者は、原則として受付の順序に従って事務局が許可する人数とする。
4. 前項の登録を受けた者(以下「登録傍聴人」という。)は、座長の許可を受けて、会議を撮影し、録画し、又は録音することができる。
5. 登録傍聴人は、前項の許可を受けようとするときは、事務局の定める手続により申請するとともに、会議を撮影し、録画し、又は録音するに当たっては、事務局の指示に従わなければならない。
6. 登録傍聴人は、会議の進行を妨げる行為又は他の登録傍聴人の傍聴を妨げる行為をしてはならない。
7. 座長は、登録傍聴人が前二項の規定に反する行為をした場合には、当該登録傍聴人に対して退場を命ずる等適当な措置をとることができる。

(会議資料の公開)

8. 会議資料は公開とする。ただし、座長は、公開することにより会議の公平かつ中立な実施に著しい支障を及ぼすおそれがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、会議資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

(議事要旨の公開)

9. 事務局は、議事要旨を作成し、公開するものとする。

附 則

この決定は、決定の日(平成 23 年 4 月 日)から施行する。